

2018 年 7 月 20 日

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 ベエルシバ
子ども自立支援センター 自立援助ホーム Tam tam 寮
代表者・役職名 氏名 黒澤 詠子 理事長

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

お風呂 改装事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など) 180文字程度まで

家庭に戻れない子ども達のお手伝いをしたいと考え創設しました。家庭の雰囲気を大切にし、衣食住を共にしながら、子ども達の心に寄り添い、生活、就労、生きていくことを支援しています。今年度から定員を6名とし、平均4~5名で運営しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

古いお風呂場でタイル張りの為、滑りやすくひび割れもしていました。また、とても寒く冷たかったです。さらに、洗濯室・洗面所とダイニングが一緒になっている為、誰かがお風呂に入っていると他の利用者が使用できない状況でした。以上の理由から、改装し快適なお風呂の時間にしてあげたいと考えました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

お風呂場の床と壁を特殊表面加工の床や壁にし、カビがつきにくいように、浴槽もユニットバスにしました。また、脱衣所と洗面所も分けました。薄暗くて無駄に広いお風呂場が、すっきり機能的になりました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300 文字程度まで

今まで入浴者がいる他の人は、洗濯や洗面が出来ませんでしたが、プロジェクト実施後は、入浴者がいても洗濯や洗面が同時に最大4人利用できるようになりました。今は、洗濯物をためておくことも、洗濯機の中に洗濯物を放置されていることもなくなりました。生活リズムの違う子ども達が、自分のペースを乱されることなく快適に生活が出来ています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

工事中近所の銭湯や温泉を利用したが、共同銭湯に入れない子がいることに初めて気付きました。衛生面を考えて、シャワーだけの利用もすすめ、子ども達も我慢してようしてくれました。また、改装後のお風呂の利用は、他の入居者に不愉快な思いをさせないように1人1人のスペースを決め、約束を守って利用できています。「快適ですよ。」と言う子ども達の表情をお見せしたいです。助成いただきありがとうございました。感謝申し上げます。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

